

保険でより良い歯科医療の実現を求める 請願署名にご協力を

口腔の状態は全身の健康と密接な関連があることが報告されており、歯科治療は欠かせません。しかし、窓口負担金の心配、物価高騰による生活困難などのために、歯科医療機関への受診を控える人が増え続けています。



歯科医療が必要な人すべてに提供されることは、基本的人権に由来した健康に生きる権利 (健康権)、憲法 25 条で保障された国民の権利です。国には社会保障として誰もがが必要な歯科医療を受けられるようにする責任があります。経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度へ転換するために、署名にご協力をお願いします。

協会・保団連は、「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名を 6 月まで行い、この願いを 6 月下旬まで開催される通常国会に提出します。

要請項目は、①窓口負担の引き下げ、②保険適用範囲の拡大、③国の歯科医療予算の大幅拡大です。目標は 1 万筆です。ぜひとも署名へのご協力をお願い申し上げます。

〈取り組みのお願い〉

歯科会員の先生には 1 月中に郵送しており、医科会員の先生には月刊保団連 2 月号に同封して、署名用紙をお届けします。

まずは先生のご署名をお願いします。職員のみなさま、患者さんに呼びかけていただきますようお願いします。

＊追加のご注文がございましたら下記、番号までご連絡ください。

＊患者さん持ち帰り用「署名用紙と返信用封筒セット」も用意していますので、他の人の目に触れる心配もありません。

＊署名付きポケットティッシュ、ハガキ署名、リーフレットもご用意していますのでご活用ください。

署名の注文は TEL078-393-1809 まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2025 年 1 月 25 号 No.352

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/



2025 年 新年ご挨拶

画蛇添足

北阪神支部長 中井 通治

皆様明けましておめでとうございます。去年はいろいろお世話になり心より御礼申し上げます。本年も保険医協会をどうぞよろしくお願いいたします。

時がたつのは早いものです。今年は巳年です。蛇にちなんだことわざと言えば「画蛇添足 (がだてんそく)」が思い浮かびますが、これは中国の故事成語で「余計なことをして物事を台無しにする」という意味です。由来は『戦国策』に記された話で、酒を巡る競争で蛇を最初に描き終えた者が、余裕から蛇に不要な足を描き加えた結果、蛇ではなくなり酒を飲む権利を失ったという内容です。この話は「必要以上のことをしない」「シンプルさを重視する」ことの重要性を教えています。

昨年 12 月 2 日から健康保険証の新規発行が終了し、健康保険証利用登録をしたマイナンバーカード、「マイナ保険証」で医療機関等を受診する仕組みに移行しておりますが、本来導入された目的とされている医療機関の業務量軽減や、患者様のさらなる便利と安全性につながっているのでしょうか。医療のデジタル化にかかる費用が効果に見合っているのか蛇が獲物を睨むように注視していかねばなりません。

皆様の一年が楽しい一年になります様、お祈り申し上げます。



医療安全管理対策研修会

外来における感染予防対策

感染対策の基本～防護具の正しい脱着実演



講師の小川麻由美氏（左上）が防護具の脱着について、実演を交えて解説された

支部は昨年 11 月 30 日に医療安全管理対策研修会を伊丹市内で開催し、会員の医師や医療機関のスタッフら 20 人が参加した。済生会兵庫県病院・感染管理認定看護師の小川麻由美氏が「外来における感染予防対策」をテーマに講演した。

研修会では感染対策の基本の手指衛生の説明から始まり、その後にニトリルグローブやガウンの脱着など感染防護具の適切な使用方法を実演を交えて指導した。参加者からは吐しゃ物処理の実演を交えた解説が解りやすいとの感想を多数いただいた。講演後は次亜塩素酸ナトリウムの管理や使い方についての質問も多かった。参加者の声を紹介する。

♪参加者の声♪

★今回の研修で、更に手指衛生の大切さ、環境をしっかりと整理することの必要性を改めて感じました。具体的な数値や、菌の特性まで知らなかったので今回の研修で更に知識を深めることが出来ました。

★汚染物の処理方法を実際に見ることができたので、吐しゃ物の広がり方にびっくりしました。エプロン、手ぶくろの着脱もとても参考になりました。

★ノロウイルスの対応グッズが色々あり、何が適しているのか効果があるのかが不安だったので、今回詳しく知ることができ、とても参考になりました。手指消毒剤を詰め替えて使用する場合、ボトル内やノズル部分など、洗うことも思っていませんでした。ノズルを洗い乾

(次のページに続く)

(2面からのつづき)

燥させるのは難しいので、新燥させるのは難しいので、新しい物を使うなど対策を考えたいと思います。

★汚物の処理で遠くまで汚物が飛び散っているのをブラックライトで実際に見ることができて驚きました。

★実際に、エプロンとニトリルグローブの脱着を行うことで、わかりやすく覚えることができた。

★日々の感染予防対策として、手洗いや手指消毒の方法、感染防護服の正しい脱着方法をはじめ、参考になることがたくさんあり勉強になりました。誤って使用していたものもあり、明日から今日の勉強会で学んだことを実践していきたいです。



吐しゃ物処理の実演を行う小川麻由美氏

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451



★ 24 時間いつでも 3 分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URL は、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【2 月のテーマ】

月曜日 強度近視と病的近視
火曜日 かぜ
水曜日 美容外科と形成外科の違い
木曜日 自動車事故による外傷性頸部症候群
金土日 ASD(自閉症スペクトラム障害)

★ 祝日は直前の放送日のテーマを放送します。
★ 都合により、テーマの一部が変更となる場合もあります。
★ 患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ (A6 サイズ) を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当：大野まで

